

与匠後の妻匠とし、  
県の応援サイト「三重の  
お宝マーケット」は、自社

# ピンチは大きなチャンス

新型コロナ対策で県は9社に設備投資の補助金を交付する

企業名	事業の内容
岩崎工業(松阪市)*	マスク製造
ロイヤル(いなべ市)*	同
万協製薬(玉城町)	アルコール消毒液の製造
中外医薬生産(伊賀市)	同
サラヤ(同)*	同
辻製油(松阪市)	除菌スプレーの製造
亀山製糸(亀山市)	マスク原料の製造
サカキL&Eワイズ(松阪市)	医療用ガウン、マスク製造
ヨシザワ(鈴鹿市)	フェースシールドの製造



除菌スプレー④が観光土産に  
(鳥羽市の鳥羽一番街)



新製品のマウスシールドを着けた  
吉沢社長(鈴鹿市のヨシザワ本社)

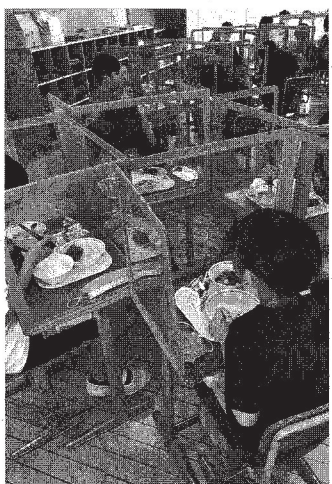
## 感染予防品に本業ノウハウ

新型コロナウイルスの飛沫感染を防ぐフェースシールドや除菌スプレー。本業のノウハウを生かす中小のものがつくりの動きが三重県内でも広がる。

亀山市は6月、飛沫防止の卓上シールドを全小中学校に配布した。軽量で、折り畳んで持ち運びが可能。

樹脂フィルム製造、パナック(東京・港)の亀山工場が開発し、オフィス向け商品も販売する。思わぬ形でニッチトップの協業が実現した。シールドはコの字に広げて使う。3面の透明フィルムを固定するクッション材の枠は鈴鹿市の包装資材メーカー、ヨシザワの製造だ。自動車部品の物流容器で培った強みを生かす。

同社は5月からフェース



学校向けに開発された卓上シールドは「軽くて安全」と好評(亀山市立亀山西小学校)

シールドを生産・販売する。「コロナによる本業の落ち込みを前に、手をこまねいているわけには」(吉沢健社長)と、UVカットや子ども用を含めて9種類の製品を開発。初年度は計20万個の販売を目指す。

鳥羽市の商業施設「鳥羽一番街」では、食用油メーカー、辻製油(松阪市)の除菌スプレーが観光土産で売れている。独自の精油技術で抽出した真産ヒノキの

香りが特徴。8月の発売前から旅行会社などから引き合いが相次いだ。鳥羽市は観光誘客で活用する。海女をデザインした特製ラベルの携帯用をホテルや旅館の予約特典に付ける。その名も「旅するスプレー」だ。

コロナ対策を目指した県の事業はヨシザワや辻製油を呼び込んだ。医療用品製造・販売、サカキL&Eワイズ(松阪市)も補助金の交付を受け、年内にも医療

用ガウンなどの自社生産を始める。中国からの輸入依存見直しが直接の引き金だが、柳宏之社長は「自社ブランドを大きく育てるチャンスに」と、今春に販売体制を一新した化粧品事業とセットで成長戦略を練る。

紳士服チェーン、青山商事の「保冷剤が入る夏マスク」、セレクトショップ大手のビームスと開発した若者向けの冷却剤。松阪市の保冷剤メーカー、三重化学工業は「ありえなかったアパレル業界との協業」(山川大輔社長)で間口を広げた。9月、「ミエラボ企画」を立ち上げた。マーケティング経験を見込んで中途採用した東京在住のスタッフはオンラインで参加し、新たな協働モデルを探る。

事業者の40近くは産品か  
応援サイトを經由して購入  
できる。5月の開設当初に

屈大レイ、伊勢コヒのフイ  
ヤベース……。シエフお  
届けメニュー商品は一流

匠シリーズで「産品を生  
産者を集め、農林水産業の  
振興につなげる」と話す。

(注)カッコ内は事業の実施場所 \*は県外に本社を置く